



ウクライナのインフラ関連省庁及び自治体の代表団が 横浜市を訪問・視察しました！



ウクライナのインフラ関連省庁及び自治体関係者が、復旧・復興支援を目的とした独立行政法人国際協力機構（JICA）の招へい事業により、来日しています。

このたび、来日プログラムの一環で横浜市を訪問し、山中 竹春 横浜市長との面会及び市内インフラ施設の視察等を行いました。

1 横浜市訪問・視察の概要

(1) 日程・訪問先

令和5年5月18日（木） 9時30分～16時00分

9：30～10：00 市長面会

10：30～11：30 都市づくり等に関する講義

13：00～14：00 市内企業訪問（移動式医療コンテナ視察）

14：30～16：00 横浜市北部汚泥資源化センター視察

(2) 訪問・視察者

イーホル・コルホヴィー 地方・国土・インフラ発展省協力パートナー調整官（元同省副大臣）、セルギー・テトゥユヒン オデーサ市副市長など10名

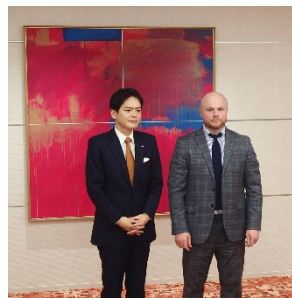
2 市長面会の概要

山中 竹春 横浜市長は、代表団の横浜訪問を歓迎し、姉妹都市・オデーサ市への浄水装置供与など、これまでのウクライナ支援の実績や、横浜の都市づくりの経験をいかした技術協力の可能性などについて紹介しました。

イーホル・コルホヴィー 地方・国土・インフラ発展省協力パートナー調整官は、ウクラ

イナの現状やインフラの復旧・復興のニーズについて紹介し、横浜の知見への関心を示されました。

また、セルギー・テトゥユヒン オデーサ市副市長が、横浜市のこれまでの支援に感謝を表明され、セルヒー・コレニエフ ミコライウ市副市長からは、横浜からの浄水装置がオデーサ市を通じてミコライウ市へ貸与され、市民への飲用水供給に重要な役割を果たしていることが紹介されました。



市長面会の様子

3 都市づくり等に関する講義の概要

道路ネットワークの計画と整備や、エネルギー需給バランスの最適化に関する公民連携の取組の紹介など、横浜の都市づくりに関する知見・経験を共有しました。



講義の様子

4 市内企業訪問（医療コンテナ視察及びオデーサ市への医療コンテナ支援）の概要

株式会社Sansei様の移動式の医療コンテナ※¹を視察しました。当日、オデーサ市と株式会社Sansei、一般社団法人YOKOHAMA URBAN SOLUTION ALLIANCE（YUSA）※²の3者により、オデーサ市での医療コンテナの活用に向けて、協力の覚書が取り交わされました。今後、株式会社Sansei様からオデーサ市への医療コンテナの無償貸与に向けて、協議が続けられる予定です。

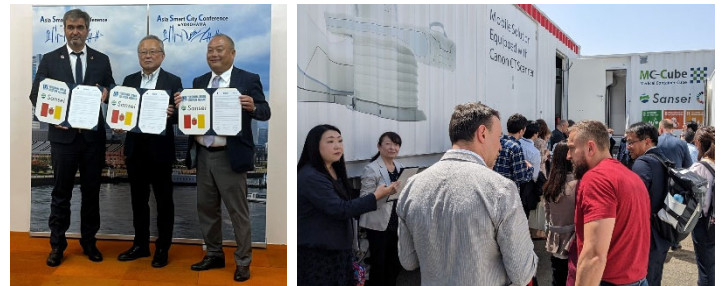
【オデーサ市副市長のコメント】

今回協力に関する協議が進み、大変嬉しく、感謝している。オデーサ市は国内から10万人を超える避難民を受け入れており、医療体制の構築が課題となっている。医療コンテナを、市民生活を支える重要なインフラとして活用していくため、JICAや株式会社Sansei、横浜市と引き続き連携していきたい。

※¹ 医療コンテナ…医療設備を搭載したコンテナ。

災害時や巡回健診等に活用されている。

※² YUSA…海外インフラビジネスの機会の拡大と新興国の都市課題解決に貢献するため、市内中小企業が中心となって設立した法人。



医療コンテナの視察の様子

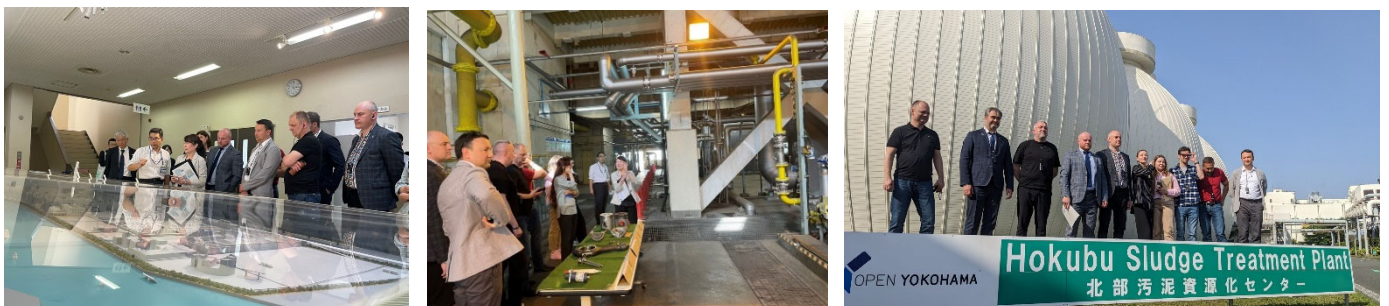
5 北部汚泥資源化センター視察の概要

北部汚泥資源化センターは、下水処理の過程で発生した下水再生水や汚泥等を資源として活用しています。

今回の訪問では、下水汚泥を活用した発電や資源化利用の取組、また、PFI方式による下水汚泥バイオガス（消化ガス）発電事業について紹介しました。

【地方・国土・インフラ発展省パートナー調整官のコメント】

ウクライナでは、エネルギー部門の強化が重要な課題。持続可能な発展のために横浜の化石燃料代替エネルギーの活用について学ぶ貴重な機会となった。



北部汚泥資源化センターの視察の様子

お問合せ先

国際局国際協力課国際技術協力担当課長

横内 宣明 Tel 045-671-4712